

令和2年2月28日

名古屋市教育委員会 様

名古屋市立工業高等学校長
福山 宏明

令和元年度 学校評価報告書

1 教育目標及び本年度の努力点

教育目標	独創進取の精神をもって人生を積極的に切り開く力を育てることにより、平和で民主的な社会や持続可能な社会の担い手となる人間の育成をめざす。また、社会に開かれた学校として家庭や地域との交流を深め、ともに教育活動を進めることを旨とする。
本年度の努力点	基礎的・基本的な知識・技能の定着や生徒の意欲を引き出す教材の開発や指導方法、評価方法の研究を進め、主体的・対話的で深い学びを実現する。また、生徒一人ひとりが夢に向かい目標を持ち、自ら学ぶ力を身につけ、社会の一員として相手を思い、命の大切さや生きていることの素晴らしさを実感できるよう努める。

2 評価結果の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
学習指導	生徒の意欲を引き出す教材の開発や指導方法・評価方法の研究 自ら学ぶ力の育成	グローバル人材の育成	海外派遣として10名の生徒がドイツの企業や学校で現地学生とともに研修を行った。中国総領事館との交流を行い国際交流を図った。国際交流の機会を増やしたい。
		学習のサポート体制の充実	成績不振者に対し個別指導などのサポート体制を充実させている。丁寧な個別対応で興味を持たせる指導を行っている。
		デュアルシステムコースについて	企業に大きな負担をかけているが、生徒にとっては貴重な経験を積ませてもらっている。社会貢献として参加下さる企業もあり益々連携を強化し輪を広げたい。
		資格・検定の指導の充実	自動車整備士・電気工事士・ITパスポートなど各種資格・検定において高取得率を挙げた。次年度も引き続き国家資格などの高取得実績を残したい。
		各種競技大会やイベントへの参加と地域貢献について	総合競技大会・ロボット競技大会・科学の祭典・あいち技能プラザなど積極的に外部のイベントなどに参加し生徒の意欲を引き出した。
生徒指導	健康健全な生活習慣	遅刻指導に関わる職員を多くする	生徒指導部だけでなく教務部とも連携し、遅刻する生徒とのコミュニケーションの中で遅刻の背景にある問題点を探り、きめ細かい指導を行った。保護者との連携も大切にしていきたい。
進路指導	生徒の目指す進路へのキャリアガイダンス	キャリア支援アドバイザーについて	外部のキャリア支援アドバイザーを招聘し、生徒の進路選択に対して的確なアドバイスをしていただいた。次年度から配置される予定のキャリアナビゲーターにも、生徒の進路目標達成に向けた大いに期待している

3 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

アンケート	6月	学校生活アンケート	結果公表	5月	P T A委員会・役員会へ報告
		いじめに関するアンケート		11月	学校評議員会
	11月	学校生活アンケート		2月	校務分掌総括、自己評価まとめ
		いじめに関するアンケート		3月	学校評議員に報告